

「分子熱力学研究センター」発足への祝辞

日本熱測定学会前会長

高橋 洋一



日本熱測定学会を代表して、大阪大学大学院理学研究科附属「分子熱力学研究センター」の発足を心よりお慶び申し上げます。日本の熱測定・化学熱力学研究の中核の施設として、一層の研究の進展を祈念いたします。

かえり見れば、わが国における熱測定研究は、初期の諸先達の御努力の黎明期を経て、1965年の第1回熱測定討論会がその組織化の第一歩であると言えます。その後1969年の熱測定研究会の発足、そして1973年の熱測定学会設立と順調な歩みをつづけて来ましたが、この間、研究会・学会の中核として終始国際的にも傑出した研究成果をあげて来られたのは、関集三先生の率いられる大阪大学理学部化学科のグループでした。1979年に、阪大理学部「化学熱学実験施設」が設置されたのは、このような実績を踏まえての当然の成り行きとは言え、学会にとっても大きな朗報でした。

爾来、「マイクロ熱研究センター」を経ての20年の間、貴学の研究グループは、常に学会にとって最も力強いメンバーであり、その活発な研究活動を通して学会の発展に多大の寄与をして来られました。そしていまや日本の熱測定研究が国際的にも欠くべからざる大きな存在となっていることは周知の通りであります。

近代化学の基盤分野の一つとしての化学熱力学およびその実験技法としての熱測定的重要性はここに改めて述べるまでもありませんが、一方では世界的にその研究者年齢の老齢化とそれに伴う全般的な不活性化が懸念されている折から、十分とは言えないまでも専任スタッフを持つ貴センターが新発足されたことは、まことによろこばしい限りであり、その意義もまた大であります。

一層の充実度を加えられての今回の「分子熱力学研究センター」の発足に、私も日本熱測定学会のメンバーは勿論、世界の同学の方々からの期待は少なからぬものがあると思います。一層の御研鑽を望みつつ、心より御祝辞を申し上げます。

(Yoichi Takahashi, Former President of Japan Society of Calorimetry and Thermal Analysis)